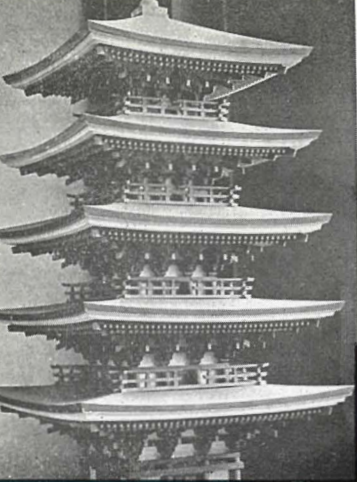


1954, 6-7

国立近代美術館 フィルムライブラリー



No. 23

月例映寫会について

国立近代美術館では、フィルム・ライブラリーで内外古今の優秀映画の収集保存とその活用に努力いたしております。今回は「グロビウスとパウハウス」展の期間中、月例映寫会として、次の短篇映画を適宜選択して、月・水曜日を除く毎日二時より上映いたします。

姫路城(原名 城) 一巻

国際文化振興会製作

編集 フランシス・ハル
独唱 三浦環
ピアノ 原千恵子

姫路城は播州平野の中心に、白亜の端麗な姿を見せて聳え立っている。一名白鷺城と呼ばれるのは、白鷺の美しくも気品にみちた優雅な姿に似たところから名づけられたものである。天下の名城として並び称せられた一方の名古屋城が亡き今、最高の築城技術と意匠美をもつて、往古の姿を殆んど完全に近く残しているこの城は現存城廓中の至宝といえる。

さて城といえば、元来は土で築いた土手、堤の類を指し、古くは奈良朝以前に行われた稻城、水城の臨時防禦施設に始まっている。然し私達が今日常識的な観念でいう城、即ち天守閣やその他白壁の櫓をもつた封建諸侯の築いた城廓は、鉄砲の伝来と共に、戦鬪の形式が大きく変化して来た室町時代の末から桃山時代にかけて急激に発展したものである。

しかもその発生から三百年程の短い隆盛期間に、初期は住居併用時代、盛期は純軍用化時代、又後期は象徴化時代と大きく三転したが、この最盛期の代表的なものが姫路城である。尤もこの城の起りとしては元弘三年(一三三三)赤杉則村率兵の時に溯るが、今日の形態をなしたのは、池田輝政が関ヶ原勲功によって播磨の領主に封ぜられた後、慶長十三年から十四年頃にかけてのことである。

姫山の丘陵を中心として本丸をおき、更に南方の平地を広く取入れたこの設計は、昔の兵学上の用語でい

う平山城に属する。曲輪は本丸を主廓として、その周りに二の丸、三の丸、西の丸を配し、更にこれらを囲んで内曲輪、中曲輪、外曲輪をめぐらし、六重の抵抗線を形成した築城の結構は、城廓設計の妙を盡している。

ここに天守とは城の中心部で他の櫓より一段と高く大きい櫓のことであるが、姫路城のそれは、いわゆる連立天守で、外観を五層、内部六階、地下一階の大手守の外に、更に北西にそれ／＼東小天守、西小天守を配し、西北に乾小天守を置いて、これらを渡櫓でつないでいる。一見非常に複雑した設計ではあるが、この天守一劃だけでも有に期間に籠城して抵抗できるように工夫されている。

現在の城は、明治に入つて、居館であつた三の丸がとり払われ、又西の丸御殿は焼失している。

昭和三年城地一帯が史跡に指定され、ついで昭和六年遺存する建物全部七十余棟が国宝に指定されていたが、法律の改正により、四つの天守と櫓の幾つかが昭和廿六年六月新国宝となつた。

室生寺

文部省映画 二巻

室生寺は、大阪から伊勢山田に至る近畿日本鉄道の室生口大野駅から南へ八軒、溪流に添つて上つた老杉うっそうとした山間に、巧みに堂塔を構えた寺院であり、紀州の高野山に対しこは一名女人高野ともいわれ、男子禁制の道場として知られている。

この寺は興福寺の末寺であつて、密教寺院ではないが、多分にその雰圍気を持ち、伽藍配置は、平地に整然と立つ奈良時代の配置法とは対照的で、空海や最澄等によつて作られた山嶽寺院の先驅をなすものといえよう。室生の龍穴神の神官等として、宝亀の末から延暦の初め(七八〇―七九〇前後)にかけて、興福寺の僧賢環が創立したものと伝えられ、神仏調和思想の古い実例を示している。

その時建てられたと考えられる五重塔と、金堂は平安初期の極めて稀れた建物の遺構として、建築史上貴重な位置を占め、共に新国宝に指定されている。塔は印度の Stupa 即ち仏舎利を安置した土饅頭型

のものを起源として発達し、我国には中国を経て飛鳥以前(六―七世紀)に伝えられており、塔上部の相輪にその原型を留めている。五重塔は、総高僅かに五十三尺四寸という、現存する五重塔中最も小規模なものである。下層の内陣柱の膨みや三手先組の斗栱などに奈良時代初期の古い風を多分に残しながら、尙細部に新しい構造上の工夫が加えられて、過渡期的なものであることを物語っている。

金堂は古くは正堂とも根本堂とも呼ばれたもので、現代は江戸時代の修理により、相当の改造が加えられているが、尙當代の代表的遺構である。内陣仏壇後方の嵌板に画かれた帝釈天曼陀羅図は、この頃の唯一の壁画として知られている。本堂は鎌倉中期の建立と考えられており、重要文化財に指定され、灌頂堂とも呼ばれているが、これは密教において、修行者を仏家に生誕させる秘法を行う道場である。堂内安置の重要文化財木造如意輪観音はいわゆる弘仁仏の代表的なものの一つで、すつきりとした作風をみせている。

日活国際会館建設工事

大成興業映画作品 一巻

国連本部の誕生

United Nations Finds A Home

USIS 映画

Building For The Nations

USIS 映画

Houses In The Town

英国大使館提供

黄八丈

一巻

企画 東京都映画協会製作
製作 東京都教育庁文化課
脚本・演出 吉田長治
脚本・演出 道林一郎

通信の発達——電話 二巻

教育映画製作協同組合作品
脚本・演出 樋口源一郎
撮影 広川朝次郎